

【令和5年度授業改善推進プラン 生活】

板橋区立高島第三小学校

■児童の状況	<ul style="list-style-type: none">・虫を育てたり、植物を育てたりすることに興味・関心をもって取り組んでいる。観察記録も意欲的に取り組める児童が多いが、文章や絵をかくことに苦手意識をもつ児童もいる。・異学年や地域の方との交流活動を好み、積極的に関わっている児童が多い。学校探検では、1、2年生同士がペアになって仲よく校内を回っていた。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">・観察カードに書かせる際に、国語で学習したことと結び付けて文章を書かせたり、植物の生長を測定させたりする必要がある。・観察については、見たり触れたりしたものをできるだけ忠実に絵や言葉に表すよう指導し、中学年の理科の学習につなげることができるようにする。よい視点でかけた児童を褒め、学級全体に広めていく必要がある。・身近な地域の施設（公園や図書館など）を見学することによって地域の環境を活用しているが、ICT機器を使用し教室内だけでも学習できるようなものを考えていく必要がある。（Googleマップ等の利用）・ICT機器を活用した学習を進めていき、より円滑に児童同士の意見交換、情報共有をできるようにする。
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none">・地域の人々、社会や自然環境を一体的に扱う学習活動を工夫し、児童が様々な発見をしながら、主体的に学習活動に取り組めるようにする。・様々な活動を行った後の振り返りをしっかり行う。気付いたことや感想を書いたり、発表し合って共有したりすることで表現力を伸ばし、達成感を味わわせるようにする。・友達の観察記録を紹介し、どのような視点で書けばよいのか気付かせるとともに、書けた内容を認めてどのようなところがよかったか褒め、達成感を味わわせる。・ICT機器を活用し、視覚的な支援や児童同士の意見交換の場を積極的に設定する。